

1	運営管理	教育・保育理念を基本に教育保育方針・教育保育目標に基づいて、一人一人の子どもたちを大切に、豊かな感性と仲間づくりを大切にする心を育み、職員相互理解と連携を持ってクラス運営に努めました。子どもたちは、保護者の見守りの中で保育者や友だちと関わりを持ち様々な経験を通して心身ともに成長しました。全職員人権に関することや保育の専門性を高めるための研修を行い、資質の向上に努め保育に取り入れてきました。
2	守秘義務	保育業務の中で知り得た秘密情報については、全職員に守秘義務の徹底を図りました。
3	安全 危機管理	事故、災害危機管理マニュアルをもとに、毎日の安全点検を行い、事故防止に努めました。月1回の防災訓練の実施や不審者対応訓練、地震訓練、風水害訓練において職員連携のもと実施し、保護者の方への協力を要請し、コードモンを使用した非常災害時対応訓練も行いました。また今年度は、飯塚警察署の指導の下、交通安全教室及び不審者対応訓練を実施し、子どもの安全を守るための危機管理意識を高めました。
4	保育環境	園内整備と保育室の環境を整え、子どもたちが、主体的に関われるように遊びのコーナー作りを工夫しました。また、社会性(コミュニケーション力)を育む玩具や手と指を使い、構成しながら楽しむ遊具を新しく揃え、子ども一人一人の遊びが充実するようにしました。
5	健康 衛生管理	園医による健康診断及び歯科検診、尿検査を年2回行い、子どもたちの健康管理に努めました。様々な感染症拡大防止のため、対策を実践しました。子どもの視診、必要に応じた検温、手洗いの徹底を行いました。全保育室に空気清浄機、加湿器を備え、室温、湿度管理、換気を行いました。また、定期的に遊具、玩具等の消毒も行いました。職員におきましても、徹底した体調管理の元、保育を行いました。
6	保育内容	教育・保育課程に基づいて一人一人の子どもを大切に豊かな感性と仲間を大切にする心を育む保育を行いました。おたよりや送迎の際に子どもの成長を保護者の方へお伝えし、共に喜ぶことができました。
7	食育	給食は、地元産食材を使うことに努めました。菜園活動では、子どもたちが育てた野菜を収穫し、食への関心や食べる意欲を育みました。今年度は、5歳児が夏野菜を植え、収穫を経験しました。また食物アレルギー児の対応も、保護者・給食担当者・担任と連携をとって進めました。また、餅つきを経験し、様々な行事食文化を子どもたちに伝えることができました。
8	子育て支援	保護者とコミュニケーションを図り、園だよりやクラスだよりを毎月発行し、いつでも育児相談ができる体制作りをしていきました。個別に相談があれば園長、副園長、担任と話をすることで、子育てのアドバイスができました。一時預かり事業では子育て支援ができるよう子育ての悩みをお聞きし、助言することができました。
9	地域交流	地域の行事においては、交流センター文化祭には5歳児が、かいたマルシェでは3、4、5歳児が、旧松喜醬油屋ひいなまつりには4歳児が作品を展示しました。また地域の方との挨拶を交わし、交流を図りました。
10	苦情報告	園に対して意見・要望などがありましたが、その都度、保護者と話し合い、改善を行うことで理解を得ることが出来ました。第三者委員までいくような相談はありませんでした。

## 外部評価

- ・保育内容や保育環境においては、年齢や発達に応じた保育環境が整備され、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開されていることは評価できる。
- ・安全危機管理面においては、マニュアルを全職員に周知し実施されている。子どものケガが発生した際の対応も適切に行われており保護者からの苦情もなかった。職員間にて事後報告、安全に関しての周知徹底を行うことで再発防止に努めていた点は評価できる。
- ・地域のイベント参加や、保育実習、中学生の体験学習等を受け入れ、地域交流を行っている点は大いに評価できる。
- ・「人権擁護のためのセルフチェック」や「ハラスメント」等のアンケート、自己評価の結果を踏まえ、より良い職場環境の構築を務めることに期待する。
- ・様々な研修や保育支援事業で学んだことや専門家の指導助言を、全職員間で情報共有し改善していくことで保育の質のさらなる向上を期待する。

第三者委員( 城石 里恵 ・ 白土 三津代 ・ 住谷 洋子 )